

令和2年度  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)  
成果報告書

団 体 名	公益財団法人鹿児島県文化振興財団	
施 設 名	霧島国際音楽ホール	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内 定 額 ( 総 額 )	5,604	(千円)
	公 演 事 業	1,684 (千円)
	人 材 養 成 事 業	2,218 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	1,702 (千円)

(1) 令和2年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場			
1	※ ドミトリー・シトコヴェツキー with みやまアンサンブル	令和2年11月1日(日) 中止※	メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲等，ドミトリー・シトコヴェツキー（ヴァイオリン独奏・指揮），みやま協力演奏家27名，企画：内真奈美，舞台技術：村場盛義，制作：加藤光俊	目標値	650
		霧島国際音楽ホール (みやまコンセール) 主ホール		実績値	0

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(2) 令和2年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	※ みやま音楽アカデミーⅠ 「みやま音楽塾」	令和2年7月23日 みやま出張音楽塾	受講団体：鹿児島学園龍桜高等学校吹奏楽部52名、応募団体4団体のうち、3団体は新型コロナウイルス感染拡大のため辞退、講師：海老原光	目標値	1,300 (延べ数)
		学校法人鹿児島学園 龍桜高等学校			
		令和2年8月8日～ 令和3年2月21日 みやま音楽塾 (全16回)		参加者数：33人、監修・講師：海老原光、講師：みやまコンセール事業課職員他、スタッフ：内真奈美、西村彬、村場盛義 他	実績値
2	※ みやま音楽アカデミーⅡ 「上野耕平によるマスタークラスとサクソフォン・リサイタル」	令和3年3月6日 マスタークラス	受講生：鹿児島県立松陽高等学校音楽科生徒5名 他 合計14名、講師：上野耕平	目標値	580
		鹿児島県立 松陽高等学校			
		令和3年3月7日 リサイタル	出演者：上野耕平、AKI マツモト、企画：内真奈美、五代香織、スタッフ：村場盛義、制作：小澤貴広	実績値	388
		霧島国際音楽ホール みやまコンセール 主ホール ほか			

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和2年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	
1	※ ミニ・コンサート	令和2年8月29日～ 令和3年3月11日 (全52回)	出演：みやまコンセール協力演奏家，企画・調整：西村彬，舞台技術：村場盛義	目標値	3,660
		霧島国際音楽ホール みやまコンセール 主ホール		実績値	4,765
2	※ みやま「さてらいと」コンサート	令和2年11月14日	出演：みやまコンセール協力演奏家，スタッフ：西村彬	目標値	1,000
		霧島温泉市場		実績値	400
		令和2年11月18日 マルマエホール出水			

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

## 2. 自己評価

### (1) 妥当性

#### 自己評価

社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。

当ホールは、県民の音楽文化の振興と音楽を通じた国内外の人流促進を図ることを主目的として設置された音楽専門ホールであることを踏まえ、「新たな音楽文化の創造を目指す音づくり・人づくり」、「豊かな自然との調和」、「世界を視野においた音楽文化の交流」を目指して、次のような基本的な考え方のもとに文化事業を実施している。

ア 世界を視野においた芸術性の高い音楽文化及び交流の場の創造を目指した「霧島国際音楽祭」の実施

イ 県民の豊かな文化性を育む音楽専門ホールにふさわしい質の高い音楽鑑賞事業の展開

ウ ホールの特性を生かした音楽教育、音楽活動・研修等の支援

エ 地域の特性・資源を生かした「霧島国際芸術の森基本構想」推進のための、霧島国際音楽祭の実施と音楽専門ホールの特性を生かした質の高い音楽事業の展開

事業の企画・実施に当たっては、音響学的にも極めて優れている主ホールや霧島の豊かな自然に包まれた野外音楽堂の特性を生かしながら、多彩なジャンル、質の高い音楽をより多くの機会を用意し低廉な価格で提供できるように努めた。また、助成対象事業「みやま音楽アカデミーⅠ・Ⅱ」をはじめとする、音楽指導者や音楽を愛好する県民を対象とした講習会を積極的に開催し、音楽文化振興に資する取組を行った。

令和2年度に計画した自主事業は、コロナウィルス感染拡大防止のため、計画通りに実施することができないものもあった。公演数は、ミニ・コンサート52公演、アウトリーチの「おとどけコンサート」が19公演、「みやまさてらいとコンサート」が2公演であった。大型企画事業・自主制作企画事業等の14公演（うち3公演は新型コロナウイルス感染症対応のため中止）と併せて、総公演数は87（実施公演数は84）公演であった。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

当ホールは、令和2年度、95名がみやまコンセル協力演奏家として登録しており、地元に住する多くの演奏家の協力を得ることで、様々な企画を継続的に実施することが可能となっている。

助成対象事業（人材養成事業）「みやま音楽アカデミーⅠ・みやま音楽塾」は、当ホールの職員による楽典や音楽史、ソルフェージュなどの講義に加え、協力演奏家による実技レッスン、合奏・アンサンブル指導、音響や照明などの舞台業務体験、演奏会の企画・運営体験などの講座を通して、音楽を幅広く多岐にわたって学ぶ事業で、複数の練習室を持つこと、音楽科教諭経験者が常勤していること、多くの協力演奏家がいること、舞台技術者が常駐していることなど、当館の特性を存分に活用していることから、多方面から注目を集めている。また、助成対象事業（普及啓発事業）「ミニ・コンサート」では、協力演奏家による演奏が行われ、近隣の研修施設との連携により、宿泊学習の研修プログラムの一つとして利用があるほか、県内学校の修学旅行や各種研修旅行、普段の生活の中でコンサートに来る機会が少ない特別支援学校の児童・生徒や高齢者等の利用も多い。職員によるレクチャー付きコンサートが好評で、年間40～50回程度の公演依頼がある。同様に、助成対象事業（普及啓発事業）「みやまさてらいとコンサート」においても、離島や遠隔地を中心に、生の音楽を聴く機会の少ない地域へ演奏者を派遣するとともに、コンサートの前後に他施設における演奏や、子供たちを対象としたワークショップ、実技指導を行うなど、音楽文化振興の一助となっている。

上記のことから、地元の演奏家に対して演奏の機会を提供することはもとより、本格的なクラシック音楽を幅広い年代の鑑賞者に提供したり、音楽文化を担う人材を育成したりする観点から、当ホールの事業が文化・芸術の振興に果たす役割は大きい。

## (2) 有効性

### 自己評価

目標を達成したか。

#### 1 公演事業「ドミトリー・シトコヴェツキーwith みやまアンサンブル」

本事業は世界的なアーティストによる協奏曲・独奏曲に特化したプログラムで、協力演奏家と共演することにより地元の演奏家に刺激を与え、演奏力や表現力の向上を図るとともに、地元のファン層を拡大することを目標としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、アーティストが入国制限のため来日できず、公演を中止とした。出演予定の地元の演奏家や来場予定者からも、公演の中止を惜しむ声が多く聞かれた。

#### 2 人材養成事業「みやま音楽アカデミー」

県民の音楽活動への意欲や演奏技能を高めるとともに、本県の音楽指導者等の資質向上のために、生涯学習・人材育成を主たる目的として以下の2事業を実施した。

##### (1) みやま音楽アカデミーⅠ「みやま音楽塾」「みやま出張音楽塾」

演奏技術の基礎や音楽の基礎理論、舞台運営など、普段の学校や部活動では学べない内容で、受講生の演奏力向上や音楽への理解を深めることにつながった。本年度の受講者は、中・高生から社会人までの幅広い年代で構成され、受講生相互の交流を深めながら音楽の楽しさを存分に味わうことができる事業として展開することができた。修了演奏会においても、多くの県民が来場し、本事業の価値や学びを継続することの大切さを指摘する声が多く挙げられた。

また、みやま出張音楽塾では講師に海老原光氏を招き、吹奏楽における演奏のコツやポイント、音楽への多面的なアプローチなど「音楽を深く見つめ、演奏を高めたい」という生徒や指導者の願いを総合的にサポートできるよう、受講団体のニーズを踏まえ実施した講習であり、成果を上げることができた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止の理由により、希望した4団体のうち3団体が辞退した。

##### (2) みやま音楽アカデミーⅡ「上野耕平によるマスタークラスとサクソフォン・リサイタル」

吹奏楽さきがけの地である本県は、小・中・高等学校はもとより社会人においても吹奏楽愛好者が多く、演奏活動も盛んに行われている。中でも、サクソフォンだけで構成されたバンドや研究団体もあるなど、サクソフォンは非常に人気が高い。そこで、県内の高校生を対象にマスタークラスを実施し、演奏力や表現力の向上を図る機会とした。また、マスタークラスを実施したことにより、リサイタルのロコミ効果が生まれ、チケットは完売となった。レクチャーコンサートという企画や認知度の高いアーティストを招聘することで新たな客層の開拓につながるものであり、有効であった。

#### 3 普及啓発事業

県民の音楽文化の振興・普及を推進するため、幼児・学生や普段コンサートに来る機会が少ない特別支援学校の児童・生徒、高齢者、当ホールを利用する機会が少ない遠隔地の県民を対象に、質の高い音楽を提供する事業を実施した。

##### (1) ミニ・コンサート

各鑑賞団体の年齢や人数、要望、季節等に応じたプログラムやレクチャー内容の工夫に努め、当ホールの特性を生かした親しみのもてるコンサートを実施した結果、令和2年度は52回開催することができ、通算1172回となった。来場者アンケートでは、97.7%の来場者から、「満足」との回答を得られたと同時に、「すごく響きがよかった。」「もともと音楽に興味はなかったが、ミニ・コンサートを鑑賞して興味がわいた。」「音楽の歴史も知ることができて演奏も素晴らしかった。」等、音楽への興味や生の音楽体験のよさ、当ホールの音響のよさや解説を交えたプログラムに対する肯定的な意見が数多く挙げられた。

##### (2) みやまさてらいとコンサート

開催対象地区【出水市・阿久根市・長島町・甑島】での演奏会を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で出水市での開催のみとなった。そのほか、霧島市観光協会と連携し、地元観光スポットでのコンサートも実施した。厳しい状況下にもかかわらず、いずれの会場においても来場者の反応がよく、音楽のすばらしさや音楽の力を改めて伝える機会となった。

### (3) 効率性

#### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。  
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

令和 2 年度に計画した事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、公演中止や公演延期となったものがあったが、いずれの事業においても、4 か月以上前に実施要領の詳細を決定し、物的・人的環境等に見通しをもって計画することができた。

#### 1 公演事業「ドミトリー・シトコヴェツキー with みやまアンサンブル」

本事業は単なる買取公演ではなく、当館のオリジナル企画をプロモーター側に提示し、趣旨に賛同するアーティストのスケジュールやプログラムの調整などをプロモーター側で行い、共同で公演を制作したものである。通常の買取公演に比べ、緊密な連絡・調整が必要であり、プロモーター及び地元演奏家との連絡・調整を計画的に進めていたが、アーティストが来日できず公演を中止した。実施を見越し、計画を進めていたため、公演料のキャンセルチャージ、宣伝費等の支出が計上された。

#### 2 人材養成事業「みやま音楽アカデミー」

##### (1) みやま音楽アカデミーⅠ「みやま音楽塾」「みやま出張音楽塾」

年度当初にカリキュラムを作成し、県内市町村教育委員会や各学校の音楽担当者、吹奏楽連盟の加盟団体等へ広報し、受講生獲得の協力を得ることができた。また、受講料を利用しやすい料金に設定するとともに、講義の大部分を職員が担当し、自作の講義資料や近隣学校から楽器借用するなど、経費等の節約に努めながら事業を実施できた。なお、当ホールの課題であるアクセスが受講の妨げとならないよう、無料送迎バスを運行し、受講生がより参加しやすい環境を整備することができた。

また、みやま出張音楽塾では事業を短期間に設定するとともに、受講希望団体と調整を図ることで効率よく運営できるよう整備したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、4 団体中、3 団体が辞退することとなった。

##### (2) みやま音楽アカデミーⅡ「上野耕平によるマスタークラスとサクソフォン・リサイタル」

本事業では、サクソフォン・リサイタル開催に合わせて、県内の高校生を対象にマスタークラスを実施し、音楽の普及と演奏者の技術向上を図る好機となった。また、広報活動においては、県内の吹奏楽連盟加盟の学校や音楽教室等にチラシ・ポスターを送付するとともに、ホームページや SNS、地域のテレビ、ラジオ局を活用するなど、積極的な活動を行った。しかしながら、新型コロナ感染症拡大防止の観点から収容率 50%の入場制限をかけての公演となった。

#### 3 普及啓発事業「ミニ・コンサート」「みやまさてらいとコンサート」

希望月の前月 1 日（必着・休館日の場合は翌日）までに申し込み、みやまコンセール協力演奏家の出演者を決定するという流れを滞りなく行うことができた。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で県外への修学旅行の中止・見直しとなる学校が相次ぎ、県内旅行へと切り替えた際、行程にミニ・コンサートを取り入れるという学校が増えたことから、コロナ禍にもかかわらず令和元年度を上回る開催数となった。

また、コンサートの入場料を低価格（ミニ・コンサート）・無料（みやまさてらいとコンサート）に設定するなど、安価で良質な音楽に触れることのできる環境を提供できた。何より、日頃生演奏に触れることの少ない方々に生の音楽を提供することや、遠隔地における音楽文化振興に資することができ、開催地や来場者からも大変好評であった。

## (4) 創造性

### 自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

#### 1 公演事業「ドミトリー・シトコヴェツキー with みやまアンサンブル」

本事業は協奏曲を中心としたプログラムで、ソリストと本県で活躍する演奏家が一体となって音楽をつくる創造性溢れる事業である。本県において、これまで協奏曲や独奏曲に特化したプログラムが取り上げられることは少なかったが、当ホールでは平成 28 年度から展開している事業である。これにより、優れたソリストの演奏を味わうことはもとより、地元の演奏家に刺激を与え、演奏力や表現力の向上につながる事が期待できる。また、プロとの共演が地元の演奏家の評価を高めるとともに、クラシック音楽のファン層を拡大できると考える。

#### 2 人材養成事業「みやま音楽アカデミー」

##### (1) みやま音楽アカデミーⅠ「みやま音楽塾」

令和 2 年度で 6 年目となった本事業は、約半年間、当ホールの職員（音楽科教諭経験者）による楽典や音楽史、ソルフェージュなどの講義に加え、協力演奏家による実技レッスン、合奏・アンサンブル指導、音響や照明などの舞台業務体験、演奏会の企画・運営体験などの講座を通して音楽を幅広く多岐に渡って学ぶ企画である。これらは複数の練習室を持つこと、音楽科教諭経験者が常勤していること、多くの協力演奏家が所属していること、舞台技術者が常駐していることなど、当ホールの特性があるからこそ実現可能な企画であり、多方面から注目を集めているところである。最終日には受講者らが企画した修了演奏会を行い、特別講師・海老原光氏が指揮者としてタクトを振り、また、前日には同氏による特別講義も実施した。

その結果、演奏技術の基礎や音楽の基礎理論、舞台運営など、普段、学校や部活動では学べない内容を学ぶことにより、受講生の演奏力向上や音楽への理解を深めることにつながった。受講者も中・高生から社会人まで幅広い年代で構成され、受講生相互の交流を深めながら音楽の楽しさを存分に味わうことができる事業を展開できた。修了演奏会においても、多くの県民が来場し、本事業の価値や学びを継続することの大切さを指摘する声が多く挙げられた。

##### (2) みやま音楽アカデミーⅡ「上野耕平によるマスタークラスとサクソフォン・リサイタル」

今、若手演奏家の中で最も注目を浴びている上野耕平氏のマスタークラスを開催することは、吹奏楽の盛んな鹿児島県において重要な意味をもつ。世代が近いプロの演奏を間近で聴き、直接指導を仰ぐことにより、受講者の音楽表現に対する意欲の高まりが期待される。実際に受講した高校生からも感動や強い意志の現れる声が聞かれた。

また、上野氏がメディアに数々取り上げられていたため、本県でも注目度が高く、リサイタルのチケットが完売するなど、地域文化拠点としての当ホールの機能を十分に発揮できた。

#### 3 普及啓発事業「ミニ・コンサート」、「みやまさてらいとコンサート」

当ホールは山間部に立地しており、自然に囲まれたすばらしい環境に立地する反面、公共交通機関でのアクセスは非常に不便な状況である。また、本県や当ホールが立地している霧島市も、人口の減少、高齢化が進行しており、当館が公演時に実施しているアンケート調査でも、来館者の高齢化が進み、若い世代の来館者数は伸び悩んでいる。このような状況の中、当ホールの「ミニ・コンサート」、「みやまさてらいとコンサート」は、県民の音楽文化の振興・普及を推進するために、当ホールを利用したくてもなかなか利用できない遠隔地の県民や、若年層に対する質の高い音楽の提供といった視点で極めて重要な事業と捉えている。実施団体への事後アンケートでも、事業に対する評価を得るとともに、クラシック音楽のよさを指摘する声や今後の音楽鑑賞への意欲の高まりが感じられる声が多く挙げられた。

以上の事業を含め、県民の音楽文化への関心やニーズを踏まえ、「県民が聴きたい音楽」、「県民に聴いてほしい音楽」の両面のバランスを考慮しながら、世界に誇る音楽専門ホールにふさわしい質の高い音楽鑑賞事業を行うことができた。また、これからの音楽文化を担う人材養成や県内各地域への文化芸術普及のための事業の充実により、音楽教育、音楽活動・研修等への支援はもとより音楽文化の更なる振興を図ることができたと考える。

## 自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

当ホールでは、地域の音楽文化の真の中核施設となるべく、特に地域の音楽文化の更なる振興と、これからの音楽文化を担う人材養成に力を入れている。中でも当ホールにおいて特筆すべき事項を以下に挙げる。

### 1 地元音楽家に対する演奏機会の提供

当ホールでは、令和2年度、95名がみやまコンセール協力演奏家として登録しており、地元に住する多くの演奏家の協力を得ることで、様々な企画が可能となっている。

協力演奏家は、互いに切磋琢磨し、自らの演奏技能や音楽性を磨くことで専門性の維持向上を図り、本県の音楽文化の振興に寄与するという目的を共有しながら、地域の音楽文化振興の担い手として活躍している。当ホールでは「ミニ・コンサート」、「おとどけコンサート」、「みやまさてらいとコンサート」のほか、「●●withみやまアンサンブル」における演奏を通して、演奏家の活躍の場を積極的に提供しており、協力演奏家間の交流や新しいレパートリーの開発を促進することにより、地域の音楽文化振興の担い手である協力演奏家の演奏力、企画力の向上が顕著になっている。

### 【協力演奏家の内訳】

楽器名	人数	楽器名	人数
ピアノ	25	ヴァイオリン	6
フルート	10	チェロ	2
オーボエ	2	コントラバス	1
ファゴット	1	ハーブ	2
クラリネット	3	クラシックギター	2
サクソフォン	6	ソプラノ	12
トランペット	3	メゾソプラノ	2
ホルン	2	テノール	1
トロンボーン	2	バリトン	2
ユーフォニアム	3	マリンバ	4
チューバ	2	リコーダー	2
合 計			95

### 2 離島や遠隔地への演奏家派遣

本県は南北約 600 km に渡る広大な県土に多くの離島があり、それらの多くは生の演奏に触れる機会が非常に少ない。さらに離島以外の地域でも人口の少ない遠隔地が多く、それらの地域では経済的にもコンサートを招聘することが困難な状況にある。このような状況を踏まえ、当ホールでは、みやまさてらいとコンサートにおいて、離島や遠隔地に演奏家を派遣し、日頃音楽に接する機会の少ない県民に対してクラシック音楽に親しむことのできる機会を提供している。その際には、児童生徒の楽器体験やクリニックを実施したり、地元の子どもの共演の機会を作ったりなど、より音楽を身近に感じることのできる手立てを講じている。そのほか、プログラムに地域に根ざした音楽を取り入れるなどコンサートの充実を図っており、地域文化振興の一助となっている。

なお、みやまさてらいとコンサートの経費は当ホールが負担しており、開催市町村の財政状況に関わらず良質な音楽を鑑賞できる機会を提供することとしている。

### 3 地元文化施設・音楽団体との連携

11 回目を数えたみやまスペシャル・コンサートは協力演奏家の企画によるもので、協力演奏家や地元の演奏家等に出演を依頼し開催している。令和2年度は、奄美のシマ唄をフューチャーしたコンサートを実施し、好評を博した。

このほか、野外音楽堂（4,000 人収容）で地元の小・中・高等学校及び一般の音楽団体が出演する「野外音楽フェス～みやまの森の響き」も毎年行っている人気企画である。特別ゲストを招く特別ステージのほか、地元の音楽団体との共演も実施しており、県民の音楽活動の支援の一助となっている。令和2年度は、地元霧島市内の小・中・高等学校による演奏をはじめ、作編曲家の立石一海を中心とした「Kazumi Tateishi Trio」を特別ゲストに迎え、県内各地から多数の来場者を得ることができた。

## (5) 持続性

### 自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

当ホールの管理・運営は、県から公益財団法人鹿児島県文化振興財団が指定管理者として指定を受けており、職員は県及び霧島市からの派遣職員並びに財団職員で構成される。

とりわけ、事業課の県教育委員会からの派遣職員は全員音楽科教諭であり、他ホールには見られない人材配置となっている（派遣期間は通常3年）。事業課の企画・運営を音楽科教諭が担当する意義は、音楽の専門的知識や技能、また、それぞれの校種における音楽科教育理論、教育技術などを持つ人材を常駐させることで、音楽文化の伝承と創造のための教育研修機能を十分に発揮させることにある。クリニックや研修会等のみやま音楽アカデミーとして企画し、開館当初より継続して実施していることや、ミニ・コンサート等で音楽的知見に基づいたレクチャーコンサートを展開していることは、特色ある人材配置により実現できたものとする。このようなことから、音楽文化振興のための普及・啓発及び人材養成の事業において、当ホールの果たす役割は大きい。

また、教育委員会からの派遣に加え、県及び霧島市からの派遣、財団職員など、異なるキャリアを持つ者によって構成される組織であることから、円滑な事業運営のための職員研修は極めて重要と考える。このため、研修会参加計画を基に、全国公立文化施設協会等が主催する研修会を始め、職員の職務内容、経験年数等に応じた適切な研修への参加や、自主研修の積極的な実施を通して職員の資質向上に努めている（表参照）。

【表1：令和2年度研修実績報告書】

令和2年度の研修実績に関して、以下のとおり報告します。

研修日	研修名	研修内容	参加者
6月26日	令和2年度霧島国際音楽ホール総合防災訓練	通報避難訓練、消火訓練、消火栓放水訓練	11名
8月6日 7日	甲種防火管理新規講習	テキストを使っの講習(産学) 防火管理の意義と制度の概要 / 火気取扱いの基本知識と出火防止対策 / 施設・設備の維持管理 / 自衛消防 / 防火管理の進め方と消防計画	1名
9月15日	令和2年度県職員始良・伊佐地区人権同和問題研修会	人権同和問題研修	2名
9月16日	令和2年度県職員始良・伊佐地区人権同和問題研修会	人権同和問題研修	1名
9月16日	令和2年度始良・伊佐地域人権啓発指導者等研修会	人権同和問題研修	1名
10月2日	令和2年度県職員始良・伊佐地区人権同和問題研修会	人権同和問題研修	1名
11月13日	令和2年度不当要求行為等対策に係る研修会	警察職員による講話「企業・行政対象暴力の現状と暴力団情勢」 DVD視聴	1名
12月17日 18日	令和2年度職場研修(財団)	人権同和研修 特別研修「新型コロナウイルス感染症 負のスパイラルを断ち切るためにできること」 相互自主検査 交通安全研修	5名
2月17日	職場研修(霧島国際音楽ホール)	副館長講話 服務規律の厳正確保について 人権研修	7名
2月18日	総合防災訓練	霧島市消防署立会による火災発生に伴う通報避難訓練、消火訓練、AED操作講習	12名
2月18日	職場研修(霧島国際音楽ホール)	副館長講話 服務規律の厳正確保について	4名

【表2：令和2年度 職員派遣実績一覧表】

No.	行事名	役割	依頼者	場所	月日	曜日	時間	2021年5月25日 現在					
								内	五代	西村	計		
1	校内合唱コンクール事前指導	講師	入来中	サンセル	中学校	6月13日	土	9:30~11:30				1	
2	校内合唱コンクール	講師	入来中	サンセル	中学校	7月11日	土	9:30~11:30				1	
3	校内合唱コンクール	講師	栗野中学校	栗野中学校	7月3日	金	13:20~15:20	1				1	
	校内合唱コンクール	講師	牧園中学校	牧園中学校	7月9日	木	13:10~14:40					1	
4	校内合唱コンクール	講師	長田中学校	県民交流センター	7月14日	火	午後	1				1	
5	校内合唱コンクール	講師	城西中学校	宝山ホール	7月16日	木	終日	1				1	
6	合唱指導	講師	入来中学校	入来中学校	7月22日	水	午前	1	1	1		1	
7	合唱指導	講師	広木小学校	広木小学校	7月28日	火	13:30~16:00	1				1	
8	霧島市小中学校事前研修会	講師	霧島市教委	主ホール他	8月25日	火	9:15~12:00	1	1	1			
9	校内合唱コンクール	講師	牧園中学校	牧園中学校	9月25日	金	13:10~14:40		1			1	
10	合唱指導	講師	入来中学校	入来中学校	9月30日	水	調整中	1				1	
11	校内合唱コンクール	講師	川辺中学校	川辺文化会館	10月16日	金	午後	1				1	
12	校内合唱コンクール	講師	大崎中学校	大崎中学校	10月30日	金	午後		1			1	
13	校内合唱コンクール	講師	舞鶴中学校	舞鶴中学校	11月6日	金	9:35~11:35					1	
14	いちき串木野市音楽発表会	講師	いちき串木野市	文化センター	11月10日	火	12:45~16:30	1				1	
15	霧島市小中学校音楽家のつどい	講師	霧島市教委	主ホール他	11月10日	火	終日		0.5	0.5	1		
16	〃	〃	〃	〃	11月11日	水	終日		0.5	0.5	1		
17	〃	〃	〃	〃	11月12日	木	終日		0.5	0.5	1		
18	〃	〃	〃	〃	11月13日	金	終日		0.5	0.5	1		
19	県小中学校アンサンブルコンテスト	講師	県学校音楽研究会	主ホール他	11月23日	月	終日	1				1	
20	県小中学校教育研究会音楽部会合唱指導講習会	〃	県小中学校教育研究会	武田上公民館	1月16日	土	午前		1			1	
21	伊佐地区高専学校アンサンブルコンテスト	〃	伊佐地区高専学校音楽部会	主ホール他	1月22日	金	午前			1		1	
合 計								6	7.5	6.5	6	13	3

分類:1市町村 2教育機関(学校等) 3その他(自主団体等)